YA-MAN REPORT

ヤーマン株式会社　2023年4月期 報告書

2022.5.1 ▶ 2023.4.30

YAMAN

TOP MESSAGE ■ トップメッセージ ■

株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
2023年4月期の経営成績や今後の取り組みなどについてご報告いたします。

代表取締役社長　**山﨑 貴三代**

当期（2023年４月期）の事業環境と業績について

当期の国内経済は、長らく続いた新型コロナウイルス感染症拡大にようやく収束の兆しが見え始めたことから、徐々に回復のペースを加速させてまいりました。

世界経済においても同様に、経済活動は総じて回復傾向にありました。

しかしながら、インフレ圧力を背景とした相次ぐ消費財の値上がりや不安定な為替の動向、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとする世界的な政情不安の影響などにより、先行きに対する不透明感は払拭できないままとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、これまで美顔器で培ってきた技術とヤーマンブランドを活かしつつ、より大きな市場であるヘアケア・シェーバーといった新カテゴリの創出に取り組んでまいりました。

また、当期は2020年11月に公表した中期経営計画の集大成の年でもあり、目標として掲げた「売上高500億円、営業利益率20%」を実現すべく、広告宣伝や研究開発への投資を強めてまいりました。

海外部門が中国において大きく売上を伸ばしたことや、国内各販路もそれぞれ堅調な売上となったことから、当期の売上高は42,996百万円（前期比5.0%増）と前期を上回りましたが、投資が先行したことから、営業利益は6,134百万円（前期比10.8％減）、経常利益は5,917百万円（前期比26.6％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,913百万円（前期比30.0%減）と利益面では前期には及びませんでした。

次期（2024年４月期）の見通しについて

2020年中期経営計画の数値目標である「売上高500億円、営業利益率20%」が未達となったことを受け、2023年6月13日付で新たな中期経営計画となる「Going Global Strategy」を策定し、あらためてグローバルブランド・カンパニーへの道程を示すとともに、中期（2028年4月期）では売上高700億円を目標とすることを公表しております。

これを達成するため、引き続きブランディング、研究開発、海外展開などに対する投資を強化し、各販路の更なる伸長を図ってまいる所存です。

次期の連結業績予想につきましては、売上高45,000百万円（対前年度比4.7%増）、営業利益6,500百万円（対前年度比6.0%増）、経常利益6,200百万円（対前年度比4.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,350百万円（対前年度比11.2%増）としております。

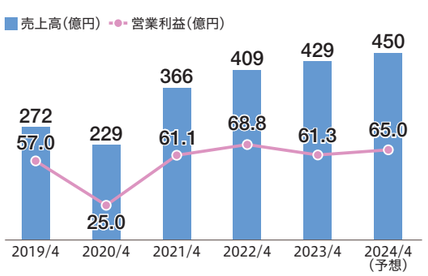
株主様への利益還元について

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。配当金につきましては、毎期安定的・継続的な実施を原則とし、将来の売上拡大に繋げるための積極的な投資と内部留保による財務体質の強化を維持しつつ、期中の業績や配当性向などを総合的に勘案して、決定することとしております。

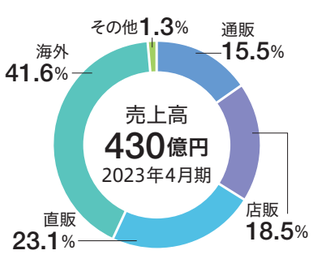
当期の期末配当につきましては、2023年5月に設立45周年を迎えたことから、普通配当4.25円に記念配当として4.50円を上乗せし、1株当たり8.75円とさせていただきました。

また、次期の配当予想につきましては、上記方針に基づき1株当たり年間8.5円(内、中間配当4.25円)としておりますが、利益の状況を鑑みながら最終的な金額を決定する予定です。

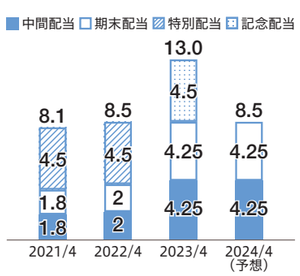
業績推移



セグメント別売上高構成比



1株当たり配当金（円）



新・中期経営計画「Going Global Strategy」を策定

2024年4月期から2028年4月期の5か年に係る中期経営計画を策定いたしました。
あらためて「グローバルブランド・カンパニー」への道程を示すとともに、目標として掲げた「売上高700億円」の達成を目指してまいります。

2020年中期経営計画の総括

達成できたこと

- **自社製品の継続的創出**
  - 49期 開発製品リリース数 16機種
    HOTSHAVE、レイボーテハイパー ZERO、BLOOM5、スムースアイロンフォトイオン等
- **ビジネスオペレーションの強化**
  - 基幹業務システムの入替え
  - グローバルサービスセンターの拡充
- **グローバル展開**
  - 海外部門の売上比率の拡大
- **ブランディング強化**
  - ブランド単体のみならず企業CMなども含めた積極的な広告投資によるブランド基盤の強化

課題

- **新カテゴリーの創出**
  - ヘアケア・シェーバー等の新カテゴリーを創出したものの、いまだ成長過程にあり、売上拡大目標は未達
- **主要KPI（売上・営業利益率）の達成**
  - 店販部門及び直販部門の売上が目標に未達
  - 原材料価格高騰による粗利率の低下
- **海外における家庭用医療機器・薬事認証取得**
  - コロナ禍での臨床試験の遅れにより遅延
- **リピート商材となる化粧品の売上拡大**
  - 美容機器と化粧品の融合により化粧品の売上割合の向上を目指したが未達

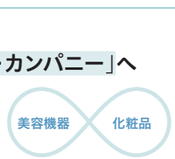
「新カテゴリーの創出」「主要KPIの達成」「海外における家庭用医療機器・薬事認証取得」「リピート商材となる化粧品の売上拡大」が継続課題

2023年中期経営計画概要

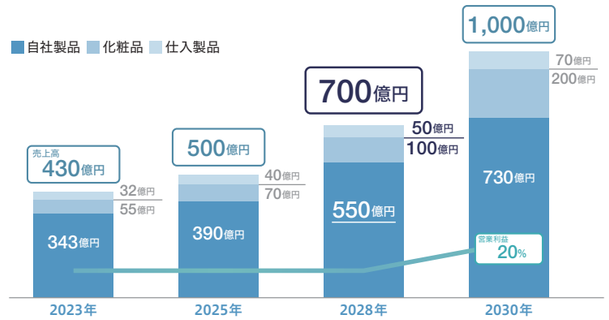
■ 私たちの目指すもの

美容機器メーカーとして、
日本発の「グローバルブランド・カンパニー」へ

当社の美容機器と化粧品の融合による相乗効果を日本から世界各国に発信し、グローバルブランドとして新しい美の価値を届けてまいります。

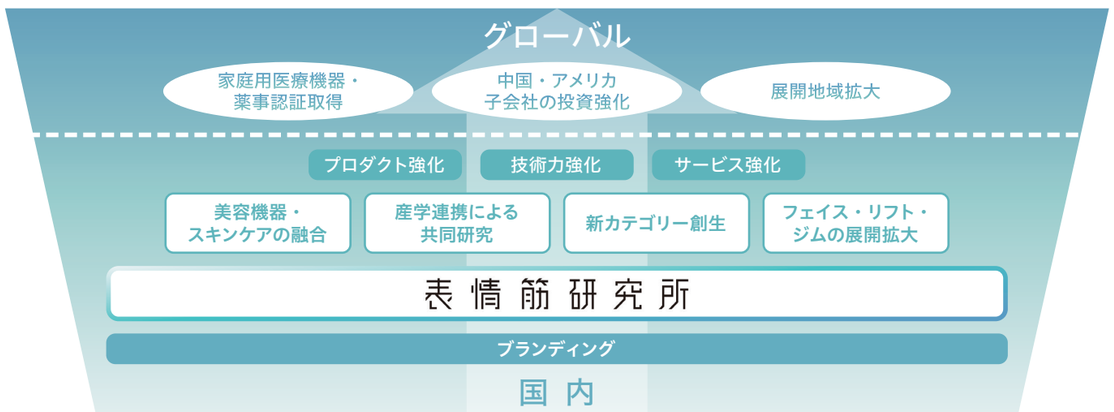


売上高500億円に再チャレンジし、中期経営計画目標としては売上高700億円を目指します。この期間は成長投資に集中して営業利益率10%以上を維持しながら、長期的には20%を目標といたします。



■ 目標達成のための成長投資イメージ

表情筋研究所に100億円投資し、技術開発や研究開発の強化に取り組みます。



YA-MAN 45 years of beauty

設立45周年 ヤーマン発明の歴史

1978年に精密機器メーカーとして創業したヤーマン。
先端技術のバックボーンを持ちながら、発明家精神でその事業領域を「美しさを作ること」へ広げてきました。
ヤーマンの発明の歴史は、美しくなるための前向きな選択肢の広がりでもあります。

Chapter 1 測る

ヤーマンは、半導体の検査装置などを取り扱う会社としてスタート。光学変位計を開発・応用して瀬戸大橋のたわみを計測するなど、「測る」ための高い技術力を持っていました。その「測る」技術を人の体に応用し、手足4点に端子をつけて「体密度法」で体脂肪を測定する日本初*の体脂肪計アルゴリズム「MICHIGAN(ミシガン)」を開発。事業領域を「美しさを作ること」へ広げていきました。

＊インピーダンス方式として

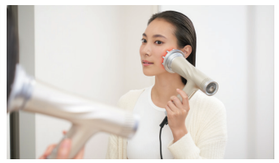
Chapter 2 小型化 一般化

サロンに行かなくても自宅でムダ毛のケアが行えるように、業務用脱毛器を家庭用に小型化。同様に、サロンでしか受けられなかったEMSによるボディケアを自宅でできるように小型化したEMS機器『Lymph Impedance Ⅱ』の開発に成功。現在も機器の小型化に挑んでおり、2023年4月に発売した『レイボーテ ハイパーZERO』は、主要部品の配置をゼロから見直し、更なる小型化・軽量化を実現しました。

設立45周年記念サイト
「45 years of beauty」公開中
https://www.ya-man.co.jp/45yearsofbeauty

Chapter 3 発想力

ハンズフリーのウェアラブルEMS美顔器『メディリフト』。毎日のヒゲ剃りに「スキンケア」を組み込んだ“温剃り”電気シェーバー『HOT SHAVE(ホットシェイブ)』。美しさと肌への優しさを考えた“浴びるだけ”のファンデーション『MINERALair(ミネラルエアー)』。毎日のドライヤーの時間が美容の時間に生まれ変わる『リフトドライヤー』。ヤーマンはその発想力で既存の美容の概念を変え、新しい選択肢を広げてきました。



Chapter 4 可能性

ヤーマンの波形設計技術の集大成ともいえる、日本初*の進化するAI美顔器『HAKEI(ハケイ)』の開発。女性技術者育成のための公益財団法人ヤーマン奨学財団の設立。東京大学大学院との共同研究や、グローバルでの共創プロジェクトの推進。ヤーマンは美しくなるための前向きな選択肢を広げ、その「可能性」を高めるために、日々取り組んでいます。

＊日本マーケティングリサーチ機構調べ　調査概要:2023年4月期　日本初であることの証明・検証調査
成分ごとに浸透に適した波形を出力する、モードをカスタムできる美顔器として

ヤーマンの研究開発の拠点「表情筋研究所」

美を深層から科学する研究開発の拠点として「表情筋研究所」を開設。「電気」「熱」「超音波」「光」といった4つのエネルギーで構成される美容技術と、その効果効能を検証する顔・表情・皮膚の研究という両面から、設計と検証を繰り返して、確かな効果のある美容技術を研究開発しています。

設立45周年を記念して企業ブランドムービー「きれいの魔法篇」を公開

設立45周年を迎えるにあたり、企業ブランドムービー「きれいの魔法篇」を2023年1月12日より公開。動画内の「今日より美しい明日を叶えるのはあなた自身」というメッセージには、「ヤーマンの美容機器は、美しくなりたいすべての人にとって、美しく輝く力を目覚めさせる前向きな選択でありたい」という想いを込めています。美容を通して前向きな気持ちが醸成される様子を優しく温かなトーンで描いた30秒のストーリーです。

https://youtu.be/HWEYU0xSjTY

ヤーマン設立45周年記念企画「フェイス・リフト・ジム」全国主要都市でPOP UP TOURを開催

顔専門トレーニングジム「フェイス・リフト・ジム」は、ヤーマン設立45周年を記念して、2023年3月～7月まで東京・横浜・大阪・福岡を巡回する「FACE LIFT GYM POP UP TOUR」を開催しています。「フェイス・リフト・ジム」では、美容機器を使ったことがない方や表情筋が気になる方に、ヤーマンの美容機器を使用して、トレーナーが1on1で「美人づくり」をお手伝いいたします。

NEW PRODUCTS ■ 新製品情報 ■

ヤーマン公式オンラインショップ
https://www.ya-man.com/

2023 6月 発売

日本初！*1進化するAI美顔器
『HAKEI（ハケイ）』

専用アプリと接続することで、クラウド上にある2万点以上のスキンケア化粧品データから成分に応じて浸透*2に適した波形を即座に生成。ご愛用の化粧水や美容液の効果を引き出しながらリフトケア*3を叶えます。アプリからモードの追加購入もできるため、肌悩みや化粧品が変化しても長くご利用いただけるサステナブルな美顔器です。

＊1 日本マーケティングリサーチ機構調べ
調査概要：2023年4月期
日本初であることの証明・検証調査
成分ごとに浸透に適した波形を出力する、
モードをカスタムできる美顔器として
＊2 角質層まで
＊3 引き上げるように動かすこと

『HAKEI』製品ページ
https://www.ya-man-tokyo-japan.com/products/forface/hakei/

2023 7月 発売

日本初*、緑LED×IPL搭載の光美顔器
『ブルーグリーンショット』

「表情筋研究所」が積み重ねてきた光の波長に関する独自研究により、肌の明るさに関わる光の波長領域は「緑LED（505nm）」であることを発見しました。くすみ印象肌のケアに対する答えとして、この緑LED×IPLを搭載した日本初*の光美顔器『ブルーグリーンショット』が誕生しました。日本初*のテクノロジーで、新時代の光美容を叶えます。

＊ 日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要：2023年3月期　日本初であることの証明・検証調査

2023 4月 発売

“0”型のボディで小型・軽量・ハイパワーを実現
光美容器 『レイボーテ ハイパーZERO』

「レイボーテ」シリーズから、超小型でありながら、ハイパワーとスピード照射を実現した『レイボーテ ハイパーZERO』が登場しました。ゼロから再設計した“0（ゼロ）”の形状により、重さ約69.5%*・縦寸約73.5%*という小型化・軽量化を実現しつつ、2本のキセノンランプで、フラッシュするパワーと照射回数もアップしました。長年にわたって機器の小型化に挑んできたヤーマンの創意工夫が詰まった新しい光美容器です。

＊ YJEA1L（レイボーテRフラッシュ ハイパープロ）との比較

2023 7月 発売

外出先でも理想のシルエットを実現するコードレスアイロン
『ヘアボリューマー』

朝しっかりスタイリングをしても、時間が経つと崩れてしまう。そんなお悩みに寄り添うコードレスアイロンが登場しました。4枚のヒーターを内蔵することで、コンパクトなデザインながらスピーディーな立ち上がりを実現します。熱伝導の良い銅合金プレートは、クッション構造になっており、髪への過度な圧迫を防いでダメージを低減します。外側のブラシ面も温まるので、ブロー感覚で簡単にスタイリングが可能です。プレートのロックを解除すれば、ストレートアイロンとしてもお使いいただけます。

TOPICS ■ トピックス ■

「JAXURY AWARD 2023」
「クラフトマンシップ」部門を受賞

「JAXURY AWARD 2023」にて、当社が「クラフトマンシップ」部門を受賞しました。「JAXURY AWARD」は、産・学・メディアから構成される「一般社団法人JAXURY委員会」が世界に誇る日本ブランドの名品を毎年選出しているアワードです。当社が受賞した「クラフトマンシップ」部門は、作り手やサービスの提供者が「心から良いと思うもの」を嘘いつわりなく追求し、自らの信念や創造されたものを世界に向けて具現化しているブランドに贈られるものです。ものづくりの精神や本質を追求する姿勢、唯一無二の独創性、そして進化し続ける研究開発スピードを、「デジタルラグジュアリー」として評価いただきました。

温剃りシェーバー 『HOT SHAVE』 米国での販売開始

2022年6月に発売した日本初*の温剃り電気シェーバー『HOT SHAVE（ホットシェイブ）』を、米国でも販売開始しました。オンラインを中心に販売し、当社のグローバル展開を一層加速させていくとともに、今後も美を求めるすべての人へ、新しい美容体験を提供してまいります。

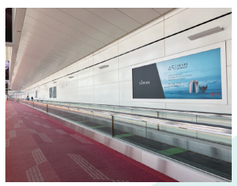
＊ 日本マーケティングリサーチ機構調べ
調査概要：2022年4月期 日本初であることの証明・検証調査

国立大学法人東京大学大学院医学系研究科皮膚科学と共同研究を開始

当社は、国立大学法人東京大学大学院医学系研究科皮膚科学（教授：佐藤伸一氏、講師：吉崎歩氏、所在地：東京都文京区）と共同研究を開始しました。この取り組みは、当社が長年研究してきた電気エネルギーが人体の皮膚におけるリバースエイジングを誘導するメカニズムの更なる解明と、その有効性と安全性を検証していくものです。
本共同研究により、当社は論文発表や新たな美容技術開発に注力し、今後も美容機器業界の発展に寄与していまいります。

国際空港内の企業広告展開開始

外出意識の高まりや海外からの旅行客の入国制限の緩和により、更なる賑わいが予想される日本国内の国際空港（羽田空港・成田空港）に、2023年5月より広告の展開を開始いたしました。



「FaSoLa STARS DUTY FREE」に YA-MANカウンターをオープン

2023年4月18日、成田国際空港第1ターミナル「FaSoLa STARS DUTY FREE」にYA-MANカウンターを開設いたしました。海外で人気の選りすぐりのラインアップを取り揃え、専門のビューティーアドバイザーがお客さまに合わせたケア方法をご提案します。この空港内店舗を通じてグローバルブランドとしての更なる認知向上を図り、幅広いお客さまとの接点を広げてまいります。

株主優待のご案内

保有株式数及び保有期間に応じて、当社直販Webサイト（ヤーマンオンラインストア）でご利用いただける株主優待割引券を進呈いたします。株主優待のお申込期限は2024年4月30日（火）23時59分までとなります。ぜひご利用をご検討ください。

発送時期　株主優待割引券は、2023年7月27日発送予定の「第49回定時株主総会決議ご通知」に同封のうえお送りいたします。再発行は出来かねますので、ご注意願います。

保有株式数	保有期間			
	1年未満	1年以上2年未満	2年以上5年未満	5年以上
100株以上500株未満	**5,000**円の株主優待割引券（1枚）	**7,000**円の株主優待割引券（1枚）	**10,000**円の株主優待割引券（1枚）	**13,000**円の株主優待割引券（1枚）
500株以上	**14,000**円の株主優待割引券（1枚）	**17,000**円の株主優待割引券（1枚）	**20,000**円の株主優待割引券（1枚）	**23,000**円の株主優待割引券（1枚）

（注）保有期間とは、該当株式数を取得したことが株主名簿に記載又は記録された日から基準日まで継続して保有した期間をいいます。詳細は当社IRサイトをご確認ください。

会社概要・株式状況

会社概要（2023年4月30日現在）

商号	ヤーマン株式会社
設立	1978年（昭和53年）5月27日
資本金	1,813百万円
従業員	369名
事業内容	美容健康関連機器及び化粧品の研究開発・製造・販売、バラエティ雑貨等の仕入販売

株式の状況（2023年4月30日現在）

発行可能株式総数	195,555,520株
発行済株式総数	58,348,880株（自己株式3,327,668株を含む）
株主数	72,264名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
山﨑静子	9,527,450	17.31
山﨑貴三代	6,204,600	11.27
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	2,965,200	5.38
一般社団法人美山﨑	2,811,050	5.10
山﨑光英	2,453,600	4.45
Victoria Yamazaki	2,080,000	3.78
山﨑知美	2,080,000	3.78
山﨑岩男	1,473,600	2.67
エコライト合同会社	650,000	1.18
㈱日本カストディ銀行（信託口他）	635,000	1.15

（注）1. 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

役員一覧（2023年7月27日現在）

代表取締役社長	山﨑貴三代	常勤監査役*2	鳥山　望
取締役	宮﨑昌也	監査役*2	鴛海量明
取締役	戸田正太	監査役*2	河本智子
取締役	髙田　潤		
取締役*1	石田和男		
取締役*1	栗原　猛		
取締役*1	井川沙紀		

*1 社外取締役　*2 社外監査役

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会　4月30日 期末配当金　4月30日 中間配当金　10月31日
公告方法	電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

ヤーマン株式会社
https://www.ya-man.co.jp/
本店　東京都江東区古石場1-4-4
本社営業所　東京都江東区東陽2-4-2新宮ビル TEL 03-5665-7330㈹

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK